



培養肉未来創造
コンソーシアム
Consortium for Future Innovation by Cultured Meat



TOPPAN



SIGMAXYZ
CREATE A BEAUTIFUL TOMORROW TOGETHER



ZACROS

【Press Release】

報道関係者各位

2025年6月24日

国立大学法人大阪大学
株式会社島津製作所
伊藤ハム米久ホールディングス株式会社
TOPPAN ホールディングス株式会社
株式会社シグマクシス
ZACROS 株式会社

「培養肉未来創造コンソーシアム」が大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオンで 7月8日に「CULTIVATED MEAT JOURNEY 2025」を開催

大阪大学大学院工学研究科、株式会社島津製作所、伊藤ハム米久ホールディングス株式会社、TOPPAN ホールディングス株式会社、株式会社シグマクシス、ZACROS 株式会社の6者が運営パートナーとして参画する「培養肉未来創造コンソーシアム」は、7月8日に2025年日本国際博覧会(以下、大阪・関西万博)の大阪ヘルスケアパビリオンのリボーンステージで、「CULTIVATED MEAT JOURNEY 2025 ～知る、感じる、考える。培養肉が創る未来の食～」を開催します。本イベントは、培養肉が切り拓く未来の食について感じていただくプログラムです。コンソーシアム代表の大阪大学大学院工学研究科教授の松崎典弥らが、3Dバイオプリント技術による培養肉の可能性をお伝えするインプットセッションや、焼いた培養肉の香りを来場者数名に感じていただく体験会、登壇者らによる培養肉の社会実装に向けた未来宣言などを予定しています。

イベント名称:「CULTIVATED MEAT JOURNEY 2025 ～知る、感じる、考える。培養肉が創る未来の食～」

日時:7月8日(火) 第1回:11:00~11:45、第2回:14:30~15:40、第3回 16:30~17:15

会場:大阪ヘルスケアパビリオン リボーンステージ(※)

アジェンダ:

第1回、第3回(45分)

オープニング

インプットセッション「培養肉とは？」

培養肉の香り体験会

参加者へのインタビュー

閉会の言葉

第2回(70分)

オープニング

インプットセッション「培養肉とは？」

高校生参加のパネルディスカッション

培養肉の香り体験会

培養肉の社会実装に向けた未来宣言

参加者へのインタビュー

閉会の言葉

※ リボーンステージは大阪ヘルスケアパビリオン館に隣接した屋外ステージです。本イベントへの参加は予約不要ですが、座席は各回約150席です。また、時間やアジェンダ、席数は変更になる可能性があります。



大阪ヘルスケアパビリオンの「家庭で作る霜降り肉」で展示中の培養肉(写真)

大阪ヘルスケアパビリオンは5月28日に来館者100万人を突破した、人気パビリオンの1つです。同パビリオンのプレミアムパートナーである「培養肉未来創造コンソーシアム」は、3Dバイオプリント技術による培養肉の実物およびミートメーカー(コンセプトモデル)を展示してきました(ブース名称は「家庭で作る霜降り肉」)。本展示を通じて、「お肉は『店で買うもの』から、『家庭で作るもの』へ」をコンセプトに、「個人の健康や好みに合わせた霜降りステーキを作り出せるミートメーカーが家庭にある」という「未来のキッチン」のイメージを表現しています。



「培養肉未来創造コンソーシアム」展示ブース(写真)

「培養肉未来創造コンソーシアム」は、2023年に大阪大学大学院工学研究科・島津製作所・伊藤ハム米久ホールディングス・TOPPANホールディングス・シグマックスにより設立されました(2024年にZACROSが参加)。培養肉は、人口増加に伴うタンパク質の供給不足および温室効果ガス排出などによる環境問題への解決策の1つとしての可能性を持っています。本コンソーシアムは、3Dバイオプリントによる培養肉製造技術の社会実装に向けて協業しており、大阪・関西万博での展示はその活動の一環です。

「培養肉未来創造コンソーシアム」ウェブサイト <https://cficm.jp/>



「培養肉未来創造コンソーシアム」の大阪ヘルスケアパビリオンでの展示概要

名称	家庭で作る霜降り肉
開催場所	大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン リボーン体験ルート「ミライの都市」
開催期間	2025年4月13日(日)～10月13日(月)
展示内容	培養肉、ミートメーカー(コンセプトモデル)など
ウェブサイト	家庭で作る霜降り肉 展示内容 大阪ヘルスケアパビリオン

【培養肉未来創造コンソーシアムの運営パートナーとしての役割および問い合わせ先】

・大阪大学大学院工学研究科

役割: 3D バイオプリント技術の開発推進

URL: <http://www.chem.eng.osaka-u.ac.jp/~matsusaki-lab/>

E-mail: m-matsus@chem.eng.osaka-u.ac.jp

取材申込フォーム: <https://forms.office.com/r/7dq9mBvSWb>

・株式会社島津製作所

役割: 3D バイオプリント技術の自動化、培養肉の食味や香りなどの分析・評価、培養に係る分析などの周辺技術開発推進、自動生産に適した培地の開発、組織化と成熟化、培養プロセスのモニタリングとフィードバック

URL: <https://www.shimadzu.co.jp>

お問い合わせフォーム: <https://solutions.shimadzu.co.jp/form/press/contact.html>

・伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

役割: 培養肉の基となる良質な食肉細胞の提供、3D バイオプリント技術で製造された培養肉の官能検査、組織化と成熟化等の周辺技術開発の推進

URL: <https://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

お問い合わせフォーム: <https://www.itoham-yonekyu-holdings.com/inquiry/index.html>

・TOPPAN ホールディングス株式会社

役割: 3D バイオプリント培養肉製造技術の筋および脂肪組織の最適化、細胞外マトリックス材料(バイオインク・つなぎ材)の開発および1次包装等に資する周辺技術開発推進

URL: <https://www.holdings.toppan.com/>

お問い合わせフォーム: <https://www.holdings.toppan.com/ja/inquiry.html>

・株式会社シグマキス

役割: 周辺技術やノウハウを有する企業および団体との連携を促進するとともに、活動計画と進捗管理、課題管理などを行い、コラボレーションを加速させるプロジェクト・マネジメント・オフィスとして参画

URL: <https://www.sigmaxyz.com/sx/>

E-mail: sxpr@sigmaxyz.com

・ZACROS 株式会社

役割: 再生医療用ヒト細胞の培養で培ってきた細胞のスケールアップ技術を活用、培養肉の社会実装に不可欠な、細胞の大量培養技術の開発

URL: <https://www.zacros.co.jp/>

お問い合わせフォーム: <https://www.zacros.co.jp/contact/>